

【オンライン開催第2回：東京から配信】

株式会社日本総合研究所 主催シンポジウム

サステナビリティ・SDGsを活かした国づくり・企業経営

後援／公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

これまでパンデミックは世界に地殻変動をもたらしてきましたが、今回の新型コロナによっても世界は大きく変化するとみられます。ポストコロナの社会の在り方を模索している今こそ、持続可能な社会・経済を目指す必要があります、その道筋の一つがSDGs(持続可能な開発目標)です。SDGsは2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標で、17のゴール・169のターゲットから構成されています。

SDGsについては、近年、各方面で関心が高まりつつあり、2025年に開催予定の大阪・関西万博でもテーマの一つに掲げられています。その一方で、SDGsへの取り組み方が分からないといった声も指摘されています。

そこで本シンポジウムでは、様々な分野から有識者をお招きし、SDGsにおける現状と課題を整理し、政策や経営戦略立案の場で具体的にどのように行動すべきかを考えてまいります。さらに、17のゴールのうち、どれを特に深めていくべきかについても議論をしていきます。多くの皆様にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

日時 2020年12月10日(木)14:00~16:30

会場 オンライン (YouTube) 開催 参加費無料

お申込方法 2020年12月8日(火)までに、下記URLもしくはQRコードよりお申し込み下さい。

<https://www.jri.co.jp/seminar>

当日の視聴方法詳細はお申込ページをご確認下さい



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



プログラム

開会挨拶 谷崎 勝教 株式会社日本総合研究所 代表取締役社長

第一部 問題提起(1)「ポストコロナの世界経済」
 石川 智久 株式会社日本総合研究所 調査部 マクロ経済研究センター 所長
 問題提起(2)「SDGs達成に向けて 一次世代が求めるもの」
 橋爪 麻紀子 株式会社日本総合研究所 創発戦略センター マネジャー

休憩

第二部 パネルディスカッション

[パネリスト] 小林 喜光 氏 株式会社三菱ケミカルホールディングス 取締役会長
 森 清 氏 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 理事・副事務総長
 沖 大幹 氏 東京大学工学系研究科 教授
 [モデレータ] 石川 智久 株式会社日本総合研究所 調査部 マクロ経済研究センター 所長

クロージング 翁 百合 株式会社日本総合研究所 理事長

■お問い合わせ：株式会社日本総合研究所 東京シンポジウム事務局 E-mail 100790-sympo02@ml.jri.co.jp

次世代の国づくり



パネリスト プロフィール <登壇順>

小林 喜光 氏 株式会社三菱ケミカルホールディングス 取締役会長



1971年東京大学大学院理学系研究科相関理化学修士課程修了後、ヘブライ大学、ピサ大学留学を経て、74年三菱化成工業(現:三菱ケミカル)入社。2007年に三菱ケミカルホールディングス社長。15年より現職。15年から19年まで経済同友会代表幹事。現在は、日本化学会会長、日本工学アカデミー会長の他、規制改革推進会議議長、総合科学技術・イノベーション会議議員、未来投資会議構造改革徹底推進会合会長等の公職も務める。理学博士。

森 清 氏 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 理事・副事務総長



1986年東京大学法学部、1993年ハーバード大学行政大学院卒業。1986年通商産業省(現経済産業省)入省。中東やアフリカを中心とする通商政策やエネルギー政策に11年、インターネット関連の国際的な政策調整に3年従事した後、2017年から近畿経済産業局長として、万博誘致の機運醸成に参画。昨年より現職(経済産業省からの出向)。京都府宇治市出身。

沖 大幹 氏 東京大学工学系研究科 教授



1987年東京大学工学部卒業、93年同大博士(工学)。東京大学生産技術研究所助教授、文部科学省大学共同利用機関 総合地球環境学研究所助教授などを経て、2006年より東京大学教授。2016年より国際連合大学上級副学長、国際連合事務次長補も務める。気候変動にかかわる政府間パネル(IPCC)第5次報告書統括執筆責任者、国土審議会委員などを歴任。著書:『水の未来-グローバルリスクと日本』(岩波新書、2016年)など。

< 問題提起 / モデレータ >



石川 智久 株式会社日本総合研究所 調査部 マクロ経済研究センター 所長

1997年東京大学経済学部卒業。同年住友銀行(現三井住友銀行)入行。(株)日本総合研究所 調査部 関西経済研究センター長を経て、2019年より現職。大阪府有識者ワーキンググループメンバー。主著に『大阪の逆襲』(青春出版社)、『大阪が日本を救う』(日本経済新聞出版)。

< 問題提起 >



橋爪 麻紀子 株式会社日本総合研究所 創発戦略センター マネジャー

上智大学卒、英マンチェスター大学大学院 開発政策マネジメント研究院にて修士課程了。(株)NTTデータ、独立行政法人国際協力機構を経て、2012年に(株)日本総合研究所入社。機関投資家向けに企業のESG評価を実施する傍ら、サステナビリティに関する人材育成に携わる。

< クロージング >



翁 百合 株式会社日本総合研究所 理事長

1982年慶應義塾大学経済学部卒業、84年同大大学院経営管理研究科修士課程修了、日本銀行入行。92年より(株)日本総合研究所、2018年より現職。京都大学博士(経済学)。全世代型社会保障検討会議議員、未来投資会議・構造改革徹底推進会合「健康・医療・介護」会合会長等。

日本総合研究所では、SDGsの目標年次である2030年に向けて、万博を目標達成に向けた通過点として位置づけながら、サステナビリティ・SDGsを活かした企業経営とはなにか、国づくりとは何かについて提言を行っています。詳しくは、当社ホームページをご覧ください。 <https://www.jri.co.jp/service/special/content22/>